

実務経験のある教員等による授業科目の一覧【薬学部】

	科目コード (ナンバリング)	科目名	担当教員	単位数	授業科目に関連した 実務経験の内容	実務経験を活かした実践的な授業内容 (詳細はシラバスを参照)	備考
1	CHE412	薬の基原	松本 司	1	(社) 北里研究所研究員19年	生薬の「古典的な薬能」が科学的に証明されつつあることを交えながら講義している。	
2	CHE434	生薬学	堀 一之	1	公設試験研究機関研究員(秋田県総合食品研究センター、他) 20年	医食同源の立場に立ち、機能性食品の探索から商品化までの経験を生かした内容を講義している。	
3	PHY432	薬品分析学 1	野原幸男	1	機能性食品、医薬品ドリンク剤等開発企業の研究員 6年	商品開発において設定した試験法に関連する事例を織り交ぜた講義を行っている。	
4	CHE442	漢方医薬学	松本 司	1	(社) 北里研究所研究員19年	基礎研究で明らかとなった漢方薬の作用機序を説明しながら、治療薬としての漢方薬を講義している。	
5	CHE362	生物有機化学	山崎 直毅	1	明治製菓(株)薬品総合研究所(研究員) 6年	生体物質取り扱いの経験を活かし、命名、合成、精製、分析の諸法及び性質に関する詳細を講義に取り入れ教授している。	
6	CHE463	植物薬品化学	堀 一之	1	公設試験研究機関研究員(秋田県総合食品研究センター、他) 20年	医食同源の立場に立ち、機能性食品の探索から商品化までの経験を生かした講義と、機能性表示食品に関するグループワークを行いプレゼンを実施している。	
7	HYG261	公衆衛生学	佐藤 陽	1	薬剤師(大原総合病院) 4年	疾病予防、さらには健康の維持・増進に必須の公衆衛生上の知識のうち、薬剤師として身につけておくことが必要とされる基本的事項を講義している。	
8	CHE171	医薬品化学2	山崎 直毅	1	明治製菓(株)薬品総合研究所(研究員) 6年	薬理、生化、代謝Gとの共同による創薬研究の経験を活かし、医薬分子とターゲット分子との結合及びADMEに関する理解が化学的に深まるように教授している。	
9	CHE481	漢方治療学	松本 司	1	(社) 北里研究所研究員19年	基礎研究で明らかとなった漢方薬の作用機序を説明しながら、治療薬としての漢方薬を講義している。	
10	CLI182	救急・中毒学	福地 祐司	1	薬剤師(仙台赤十字病院) 22年	救急医療・災害医療や中毒における薬剤師の役割をこれまでに経験した事例を交えながら講義している。	

実務経験のある教員等による授業科目の一覧【薬学部】

	科目コード (ナンバリング)	科目名	担当教員	単位数	授業科目に関連した 実務経験の内容	実務経験を活かした実践的な授業内容 (詳細はシラバスを参照)	備考
11	MED474	調剤系実習	吉川 真一	2	薬剤師（かしま病院、他）38年	薬剤師として必要な技能を取得できるように実習を行っている。	
			福地祐司		薬剤師（仙台赤十字病院）22年	薬剤師として必要な技能を取得できるように実習を行っている。	
			渡邊 義久		薬剤師（病院、調剤薬局、ドラッグストア）32年	病院や薬局での調剤経験を活かし、実習を実施している。	
			村田 亮		病院薬剤師（1年） 薬局薬剤師（5年）	病院および薬局勤務での事例を織り交ぜ学べるように実習を行っている。	
12	MED271	臨床薬物動態学	佐藤 陽	1	薬剤師（大原総合病院）4年	薬物動態のうち、特に非線形モデル、生理学的モデル、モデル非依存性解析について講義している。	
			住谷 賢治		病院薬剤師35年 ・筑波大学附属病院 25年 ・常陸大宮済生会病院 10年	薬物の体内動態や薬物治療モニタリングについて、実務経験で得た知識や技能を活かした講義を実践している。	
13	HYG571	薬品安全性学	櫻井 映子	1	学校薬剤師（20年以上） 薬剤師（薬局ボランティア）	実務で体験した事例を紹介しながら、薬品（医薬品を含む）の毒性発現から、安全に有効に使うための考え方を含めた薬学教育をしている。	
			佐藤 陽		薬剤師（大原総合病院）4年	医薬品の安全性（毒性）について、特にアレルギー、遺伝的多型、相互作用の点を講義している。	
14	MED373	製剤学	住谷 賢治	1	病院薬剤師35年 ・筑波大学附属病院 25年 ・常陸大宮済生会病院 10年	医薬品の剤形や製剤学的特徴等について、実務経験で得た知識や技能を活かした講義を実践している。	

実務経験のある教員等による授業科目の一覧【薬学部】

科目コード (ナンバリング)	科目名	担当教員	単位数	授業科目に関連した 実務経験の内容	実務経験を活かした実践的な授業内容 (詳細はシラバスを参照)	備考
15	561060	臨床ケーススタディ	2	永田 隆之	薬剤師（薬局）10年	課題について、臨床の現場での事例を織り交ぜながら講義している。
				住谷 賢治	病院薬剤師35年 ・筑波大学附属病院 25年 ・常陸大宮済生会病院 10年	代表的な疾患に罹患した患者への服薬指導に必要な知識について、学生と質疑応答しながら講義を実践している。
				福地 祐司	薬剤師（仙台赤十字病院）22年	症例解析を通じて、個々の患者に適した薬物治療を検討する授業を行っている。
				吉川 真一	薬剤師（かしま病院、他）38年	臨床に直結する薬学教育を実施している。
16	561105	薬物治療特論	1	福地 祐司	薬剤師（仙台赤十字病院）22年	症例解析を通じて、個々の患者に適した薬物治療を検討する授業を行っている。
				住谷 賢治	病院薬剤師35年 ・筑波大学附属病院 25年 ・常陸大宮済生会病院 10年	講義前に学生に提示した症例について学生と討論しながら最適な薬物療法を立案している。
17	MED261	生物薬剤学	1	住谷 賢治	病院薬剤師35年 ・筑波大学附属病院 25年 ・常陸大宮済生会病院 10年	薬物の体内動態基礎的知識やその変動要因について、実務経験で得た知識や技能を活かした講義を実践している。
				村田 亮	病院薬剤師（1年） 薬局薬剤師（5年）	病院および薬局勤務での事例を織り交ぜ学べるように薬物相互作用の講義を行っている。
				福地 祐司	薬剤師（仙台赤十字病院）22年	臨床で用いられる医薬品の例を交えて講義している。
合計単位数			19			
設置基準上の標準単位数			186			

※ 実務経験のある教員については、シラバスの担当教員に○を付している。